

2021年5月28日

報道関係者各位

慶應義塾

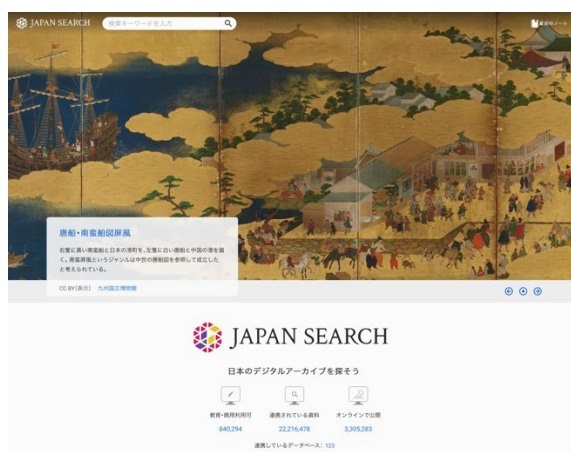
## 慶應義塾の文化コレクションを発信するポータルサイト「Keio Object Hub」が「Japan Search」と連携開始

慶應義塾の文化コレクションを、学内で展開する展覧会等の文化活動と合わせて発信する、日英バイリンガルのポータルサイト「Keio Object Hub」が、国の分野横断型統合ポータル「Japan Search（ジャパンサーチ）」との連携を開始します。この連携を機に、Keio Object Hubで公開されているデジタル・コンテンツやメタデータがJapan Search上でも検索可能となります。また、他機関所蔵のコンテンツとの横断検索が実現することにより、慶應義塾と全国の文化財が結びついていきます。

URL: [https://jpsearch.go.jp/organization/keio\\_university](https://jpsearch.go.jp/organization/keio_university)

### 1. 「Japan Search」とは

- 国内のさまざまな分野のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。
- デジタルアーカイブジャパン推進委員会・実務者検討委員会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）の方針のもと、さまざまな機関の協力により、国立国会図書館がシステムを運用しています。
- 2020（令和2）年8月に正式版が公開されました。<https://jpsearch.go.jp>



### 2. 「Keio Object Hub」とは

慶應義塾には、160年を越える歴史の中で集積された多様な領域にわたる文化財コレクションがあります。これらのコレクションは、図書館、研究所にとどまらず、学部や一貫教育校など学内のさまざまな場所で収蔵・活用され、専門性を反映した豊かなコレクション・データベース

ースが編まれてきました。これらのデータベースを連携させ、展覧会や講演会など、学内で展開する文化関連活動と結びつけたポータルサイトが「Keio Object Hub」です。

2021年4月にグランド・オープンを迎えた「慶應義塾ミュージアム・コモンズ」が運営を担い、2021年4月14日（水）から一般公開が始まりました。

「Keio Object Hub」は、大学に蓄積された文化財（Object）が人々と出会い・交流する「Hub」、またデジタル空間を通じて、国内外のミュージアムや大学など、グローバルなネットワークに接続する「Hub」となることを狙い命名されました。

2021年5月現在、約11,500件の文化財情報が掲載されており、今後もコレクションを追加していきます。



<https://objecthub.keio.ac.jp/>

### 3. Japan Search に連携されるコレクション（2021年5月27日時点）

慶應義塾内の部門名	コレクション名	点数（概算）
ミュージアム・コモンズ	センチュリー赤尾コレクション	2,300
福澤研究センター	「慶應義塾と戦争」アーカイブ	900
文学部 民族学考古学専攻	メラネシア民族資料データベース	2,000
メディアセンター	デジタルコレクション	6,000
美術品管理運用委員会	慶應義塾所蔵の美術作品	300

この他、アート・センター、文学部古文書室、斯道文庫など、さまざまな部門の収蔵する文化財や研究資料が随時追加されていきます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : [m-pr@adst.keio.ac.jp](mailto:m-pr@adst.keio.ac.jp) <https://www.keio.ac.jp/>